

政策シート

政策名 05 地域の文化遺産の保全・活用

予算費目名 01 博物館費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後)	◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。
政策の柱 (10年後)	◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策 01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

- ①魅力ある展示会・学習会・講座・体験会などを開催し、博物館で学ぶ機会を拡充する。
- ②歴史資料を適切に保管するために、収蔵資料台帳を整備し、デジタル化するとともに、調査研究に基づいた資料の公開活用を進める。
- ③市民の博物館活動への参加と、地域、学校、大学等との連携事業を推進する。
- ④国指定史跡蛸塚遺跡を魅力ある遺跡公園にするため保存活用計画を策定し、併せてその中で博物館の将来像を定めていく。また、博物館リニューアル基本構想の策定に着手する。
- ⑤市民の要望に応え分館の事業の充実を図る。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑪都市	⑫生産・消費			
-----	-------	--------	-----	--------	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	92,367	80,983	75,770			
決算	85,673	68,198				
人件費(報酬等)(A)	190	3,355	3,115			
人件費(人工分)(B)	87,000	86,200	86,200			
年間経費(予算又は決算+A+B)	172,863	157,753	165,085			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
博物館の年間利用者数	人	目標	141,000	141,000	141,000	141,000	141,000	141,000
		実績	107,253	75,782				
分館における展覧会開催数	回	目標	12	14	16	16	16	17
		実績	14	16				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

- ①魅力ある展示会・学習会・講座・体験会などを開催し、博物館で学ぶ機会を拡充した。
- ②歴史資料を適切に保管するために、収蔵資料台帳を整備し、デジタル化するとともに、調査研究に基づいた資料の公開活用を進めた。
- ③市民の博物館活動への参加と、地域、学校、大学等との連携事業を推進した。
- ④市民や学校の要望に応える新たな博物館構想の策定に着手するとともに、分館の事業の充実を図った。
- ⑤国指定史跡蛸塚遺跡を魅力ある遺跡公園にするため、保存活用計画の策定に着手した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> ・博物館資料研究室などの照明器具修繕工事、会議室の壁面塗装修繕工事、伊場遺跡公園のカイツカイブキ等剪定工事等を実施し、博物館来館者や公園利用者が安全に博物館や史跡を見学できるよう学習環境を保全した。 ・特別展「浜松城一築城から現代へ」を開催し、郷土の歴史資産への関心を高めることができた。また、テーマ展「めでたいかたち」「まちの盛り場」「あかりの道具」「これなんだ? -古代の木製品-」を開催し、浜松地域の歴史文化の普及発展に努めた。 ・蛸塚・伊場遺跡再生プロジェクトとして再整備の方針を示し、蛸塚遺跡保存活用計画の策定に着手した。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	博物館運営事業	○	○			63,528	38,294	2.7			1.6	1,854
2	遺跡公園運営事業	○	○			27,992	17,072	1.4			0.4	
3	博物館展示会開催事業	○	—	○		17,736	4,957	1.5	0.2		0.4	439
4	学習会開催等連携事業	○	—	○		27,974	4,074	2.3	0.3		2.4	
5	博物館資料調査収集活用事業	—	—	—		27,855	11,373	1.1	0.5		2.2	822
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						165,085	75,770	9.0	1.0		7.0	3,115

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 博物館運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

博物館は、浜松地域の歴史と文化を紹介する博物館施設を管理し運営することにより、浜松市民の学習を支援する機能を維持する。これにより、新しい時代に向けた浜松市民の文化創造に寄与していく。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市博物館条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)							
重点戦略		(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

<input type="checkbox"/> ⑪都市	<input type="checkbox"/> ⑫生産・消費	<input type="checkbox"/> ④教育	<input type="checkbox"/> ⑧成長・雇用
事業とゴールの関連性		・歴史学習を支援する機能を維持し、文化創造に寄与する。	

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	47,292	40,723	38,294			
	決算	44,301	36,119				
	国・県支出						
	市債						
	その他	3,600	3,060	1,793			
	一般財源	40,701	33,059	36,501			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)		190	1,733	1,854			
人件費(人工分)(B)		21,480	20,580	23,380			
人工	正規	2.4	2.3	2.7			
	再任用(h31)	0.6					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.9	1.6	1.6			
年間経費(予算又は決算+A+B)		65,971	58,432	63,528			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
博物館の年間観覧者数(人)			目標	71,000	71,000	71,000	71,000	71,000	71,000
			実績	59,788	42,140				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 05 01 000632000 01 文化財課(博物館) 鈴木 一有 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

以下の博物館と分館の建物、設備等の維持管理と本館・分館の運営を行った。

- ・博物館施設
- ・市民ミュージアム浜北(指定管理施設)
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館
- ・春野歴史民俗資料館
- ・水窪民俗資料館
- ・舞阪郷土資料館(指定管理施設)
- ・旧カモシカと森の体験館
- ・旧龍山郷土文化保存伝習施設

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・博物館では、資料研究室・第3収蔵庫・書庫の照明器具修繕工事、会議室壁面塗装工事等を実施
- ・舞阪郷土資料館では、展示室柵修繕工事を実施
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館ではトイレロータンク修繕工事を実施

これらの事業を執行したことにより、市民の歴史学習を支援する機能を維持でき、施設管理満足度も90%を維持できた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した施設運営

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

本年度は、博物館の会議室の壁面塗装修繕工事などにより施設機能が改善し、来館者の安全、収蔵資料の保全が確保された。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

施設の長寿命化と大規模改修を考えるとともに、来館者の安全と満足度が確保できる維持管理を目指していく。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

以下の博物館と分館の建物、設備等の維持管理と本館・分館の運営を行う。

- ・博物館施設
- ・市民ミュージアム浜北(指定管理施設)
- ・姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館
- ・春野歴史民俗資料館
- ・水窪民俗資料館
- ・舞阪郷土資料館(指定管理施設)
- ・旧カモシカと森の体験館
- ・旧龍山郷土文化保存伝習施設

また、博物館施設については、リニューアル基本構想の策定に着手する。

事業シート (事業名) 02 遺跡公園運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

博物館は、蜷塚(遺跡)公園を、隣接する博物館と一体的に管理し、伊場遺跡公園とともに学び憩える歴史公園としての機能を維持するとともに、蜷塚遺跡については、保存活用計画を策定し、公園の再整備に着手する。これにより、貴重な歴史的文化的遺産の保護と活用を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市博物館条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)							
重点戦略		(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	④教育	⑧成長・雇用
事業とゴールの関連性		・歴史公園としての機能を維持し、貴重な歴史的文化的遺産の保護と活用を図る。	

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	24,446	20,422	17,072			
	決算	23,760	16,828				
	国・県支出		990	1,000			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	23,760	15,838	16,072			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		8,440	10,920	10,920			
人工	正規	1.0	1.4	1.4			
	再任用(h31)	0.4					
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)		0.4	0.4			
年間経費(予算又は決算+A+B)		32,200	27,748	27,992			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
公園整備件数 (件)			目標	6	6	6	6	6	6
			実績	6	6				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 05 01 000632000 02 文化財課(博物館) 鈴木 一有 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ・蜷塚公園及び伊場遺跡公園の、除草・樹枝剪定等の業務委託事務、公園用地の賃貸借契約事務など、維持管理業務を行った。
- ・園路の補修工事、植栽剪定工事など、公園の整備を行った。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

○蜷塚公園・伊場遺跡公園維持管理事業

蜷塚公園・伊場遺跡公園における、樹木等の管理及び伊場遺跡公園巡回清掃を委託として実施した。

○遺跡公園整備事業

蜷塚公園整備・修繕として蜷塚公園園路補修工事、伊場遺跡公園カイツカイブキ等剪定工事、台風24号被害エリア樹木剪定及び地盤改良工事等を行った。以上により、蜷塚公園ならびに伊場遺跡公園内にある建物・設備等が修繕され、浜松の歴史文化を学習でき、親しみのある公園を維持できた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

公園内の園路の補修や、高木の剪定、伐採等により、公園の外観の修復を図るとともに、利用者が公園を安全かつ快適に使用できるように努めた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

今後も、貴重な歴史的文化遺産である蜷塚公園及び伊場遺跡公園について、修繕整備と維持管理に努めていく。蜷塚遺跡については、保存活用計画を策定し再整備に着手する。

また、ボランティアとの協働をはじめ、市民目線に立った公園づくり、魅力アップに努めていく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

・蜷塚公園及び伊場遺跡公園の、除草・樹枝剪定等の業務委託事務、公園用地の賃貸借契約事務など、維持管理業務を行う。

・園路の補修工事や樹木剪定工事など、公園の整備を行う。

・国指定史跡蜷塚遺跡を魅力ある公園にするため、保存活用計画を策定する。

事業シート (事業名) 03 博物館展示会開催事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

博物館は、常設展や特別展・テーマ展などの展示会で浜松市民が地域の歴史文化遺産について実際に目に触れる機会を創出する。また、観光や学習等で浜松を訪れる人々に、地域の個性ある歴史文化を紹介する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

⑪都市	⑫生産・消費	④教育	⑥水・衛生
事業とゴールの関連性		<ul style="list-style-type: none"> 博物館や分館の展示会等を通じて、来館者に学校教育や生涯学習の機会を提供する。 展示会を通じて、文化遺産や自然遺産などの保護保全の啓発活動を高めていく。 常設展示や展示会の開催により、地方文化を創出していく持続可能な観光業を促進する。 	

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	11,125	10,689	4,957			
	決算	9,662	8,378				
	国・県支出						
	市債						
	その他	2,403	1,339	3,057			
	一般財源	7,259	7,039	1,900			
一般会計繰入金							
人件費(報酬等)(A)			644	439			
人件費(人工分)(B)		15,840	14,440	12,340			
人工	正規	2.0	1.8	1.5			
	再任用(h31)	0.2	0.2	0.2			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	0.4	0.4	0.4			
年間経費(予算又は決算+A+B)		25,502	23,462	17,736			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
特別展及びテーマ展における来館者数(人)			目標	43000	43000	43000	43000	43000	43000
			実績	32540	24032				
特別展及びテーマ展の平均満足度(%)			目標	90	90	90	90	90	90
			実績	90.4	88.6				
市民協働産学連携による展示会の開催(件)			目標	3	4	4	4	4	5
			実績	4	4				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 05 01 000632000 03 文化財課(博物館) 鈴木 一有 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

常設展・テーマ展開催事業

- ・浜松市の歴史文化について通史的に常時紹介する常設展示を行った。
- ・常設展示を補完するため、展示内容を深く掘り下げ、魅力ある歴史文化遺産を紹介するテーマ展示を開催した。
- ・常設展示・テーマ展をさらに補完する小展示を、展示ホールにて開催した。

巡回展開催事業

- ・本館のテーマ展を分館に巡回展示した。
- ・地域の独自文化と広域性を比較する巡回展を開催した。

特別展開催事業

- ・郷土の歴史文化遺産を全国の関連資料とともに紹介した。
- ・浜松が全国に誇る魅力ある歴史文化遺産について、市民の目に触れる機会を創出した。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・テーマ展を年4回開催し、収蔵品の公開・活用のもとともに、常設展示の補完とした。また、学校教育と連携した「道具たちの百年」などの小展示を5回開催した。
- ・巡回展として本館開催のテーマ展示の縮小版や「小さな野島青茲展」などの展覧会を分館で実施し、博物館本館から遠方にお住まいの方に、身近な分館で観覧していただく機会を提供した。
- ・特別展は浜松城築城450年を記念して「浜松城—築城から現代へ—」を開催し、全国各地から借用した貴重な文化財とともに所蔵品を展示して、広い視野から郷土の歴史文化遺産の魅力を紹介した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した来館者対応

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

市内外の文化施設・学校教育機関等との相互協力により、地域の歴史遺産の掘り起こしや、個性ある地域文化の発信の場を提供できた。オリンピックに合わせて企画した小展示を1年延期し、地元店舗との共催で博物館キャラクターの塗り絵コンクールを開催した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

博物館本館はもとより、分館において収蔵されている資料を活用した、新しい展示企画を進めていく。また、博物館は諸機関、団体等と連携した調査・研究に基づく展覧会を企画・開催していく。当年度は市民協働で家康伝承事業を実施し、その成果を翌年度の特別展に反映させる。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

常設展・テーマ展開催事業

- ・浜松市の歴史文化について通史的に常時紹介する常設展示を行う。
- ・常設展示を補完するため、展示内容を深く掘り下げ、魅力ある歴史文化遺産を紹介するテーマ展示を開催する。

巡回展開催事業

- ・本館のテーマ展を分館に巡回展示する。
- ・地域の独自文化と広域性を比較する巡回展を開催する。

※令和3年度の特別展は開催せず、その期間を全館燻蒸に充てることで、展示収蔵環境の向上を図る。

事業シート (事業名) 04 学習会開催等連携事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

博物館は、地域の歴史文化遺産を広く紹介し、市民の学習、研究の機会を広めるため、講座・講演会・学習会等を開催して、市民協働参画のもと世代を越えた文化の継承を目指す。また、未来を引き継ぐ子供には、土日や長期の休日に子供向けの講座・体験学習などの学習機会を提供する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用
⑪都市	⑫生産・消費				
事業とゴールの関連性	・講座の開催や体験活動の学習環境の提供により、来館者に学校教育や生涯学習の機会を提供し、持続可能な観光業の促進を図る。				

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	4,659	4,074	4,074			
	決算	3,971	2,472				
	国・県支出						
	市債						
	その他	1,355	519	1,800			
	一般財源	2,616	1,953	2,274			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)		357				
	人件費(人工分)(B)	24,180	23,900	23,900			
人工	正規	2.3	2.3	2.3			
	再任用(h31)	0.3	0.3	0.3			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.5	2.4	2.4			
年間経費(予算又は決算+A+B)		28,151	26,729	27,974			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
新たな体験メニューの開発 (件)			目標	3	3	3	3	4	5
			実績	3	3				
博物館ボランティアの年間参加者数 (人)			目標	1000	1000	1000	1000	1200	1300
			実績	633	430				
学校への教材利用件数 (点)			目標	1600	1600	1600	1600	1700	1900
			実績	1155	1454				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 05 01 000632000 04 文化財課(博物館) 鈴木 一有 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

講座・体験館等開催事業

- ・地域の歴史文化に関する講座、講演会を開催した。
- ・児童生徒を対象にした体験事業、季節や年中行事に関連する体験事業を、ボランティアの協力により開催した。
- ・ボランティア養成のための講座を開催した。

おでかけミュージアム開催事業

- ・学校移動博物館の開催と学校への教材貸出を行った。
- ・市内の民間施設での展示会(逸品まちかど陳列事業)は、コロナ禍のため開催希望がなかった。
- ・出前講座を、要望に応じて行った。
- ・地域の歴史文化遺産を守り育てる市民団体を支援し、博物館の事業への参画を呼びかけた。

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・主に親子を対象とした体験事業を開催し、学習機会を提供しました。ものづくり体験はコロナ禍のため内容を変更、大人向けの「初歩の古文書講座」などにより、生涯学習の機会を提供した。
- ・学校移動博物館では市内8小学校を訪問して、資料の展示と体験講座を実施した。教員向けの博物館利用講座を開催して、授業や校外学習での博物館利用の促進を図った。
- ・令和元年度から博物館ボランティアに関する要綱を定めて、ボランティア講座を開催し、一定の要件を満たした者を市民学芸員に認定して、ボランティア養成の充実を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した事業実施

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

誰でも気軽に参加しやすい体験型の催しや大人に向けたより専門的な歴史学習講座を開催して、市民の歴史文化への興味付けや、博物館観覧者と事業参加者のリピーターの増加を図った。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

引き続きコロナ禍でも実施可能な体験メニューの開発に努める。新しい団体や機関との協働や連携により、多様な客層に魅力ある事業を展開していく。また、事業の拡大に伴い、ボランティアの養成を充実し活動の場を広げるとともに、ボランティアの活動をPRする場を設けて新たな人材の獲得に努める。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

講座・体験館等開催事業

- ・地域の歴史文化に関する講座、講演会を開催する。
- ・児童生徒を対象にした体験事業、季節や年中行事に関連する体験事業を、ボランティア活動や市民協働により開催する。
- ・体験事業の中に、ボランティアが自らの活動をPRする場を設ける。
- ・ボランティア養成のための講座を充実して、ボランティアの質を高める。

おでかけミュージアム開催事業

- ・学校移動博物館の開催と学校への教材貸出を行う。教員に向けて貸し出しの促進のための広報を積極的に行う。
- ・市内の民間施設での展示会(逸品まちかど陳列事業)や出前講座を、市民の要望に応じて行う。
- ・地域の歴史文化遺産を守り育てる市民団体を支援し、博物館の事業への参画を呼びかける。

事業シート (事業名) 05 博物館資料調査収集活用事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

浜松の歴史文化遺産を広く調査収集し保存することを目的として、これらの歴史文化遺産により、過去の浜松の人々の営みを市民に紹介するとともに、現在の生活文化を将来の浜松市民に伝えていく。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S54	—	一般会計	自治事務(その他)	博物館法

(3) 事業の位置付け

主要事業	—	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	—	(施策)							
重点戦略	—	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

①都市		④教育							
事業とゴールの 関連性	・地域の歴史文化遺産を調査・保存することにより、文化遺産・自然遺産の保護保全を行う。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	4,845	5,075	11,373			
	決算	3,979	4,401				
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	3,979	4,401	11,373			
人件費(報酬等)(A)			621	822			
人件費(人工分)(B)		17,060	16,360	15,660			
人工	正規	1.3	1.2	1.1			
	再任用(h31)	0.5	0.5	0.5			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	2.2	2.2	2.2			
年間経費(予算又は決算+A+B)		21,039	21,382	27,855			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
新着資料の公開件数 (件)			目標	10	10	10	10	10	10
			実績	3	6				
収蔵資料台帳の整備件数 (件)			目標	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
			実績	81,560	82,737				
収蔵資料台帳の公開件数 (件)			目標	12,000	12,000	12,000	12,000	15,000	20,000
			実績	11,821	11,971				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 05 01 000632000 05 文化財課(博物館) 鈴木 一有 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- 資料の調査収集事業
 - 考古、歴史、民俗、文献等、価値ある歴史文化資料を調査、購入、寄贈等により受け入れ、整理し保管した。
 - 新たな資料の情報に対応し、調査及びデータ収集を行った。
 - 文化財IPM(総合的有害生物管理)を推進し、害虫やカビの侵入に対する職員の意識を高めるとともに、日常的に防虫防カビ、温湿度管理を行い、また定期的に燻蒸処理をして適切な保存環境を維持した。
 - 伊場遺跡出土品の重要文化財指定に向けて、資料の選定・整理を行った。
- 電子データ作成公開事業
 - 18万点に及ぶ博物館収蔵資料を、将来にわたって保存するとともに有効に活用し、市民の財産として公開した。
 - 収蔵資料台帳を整備し、デジタル化を図り、画像データとともに博物館ホームページで公開した。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- 新着資料のうち浜松の歴史を展示するために必要な資料5件を、特別展、テーマ展で公開活用した。
- 資料収集については、寄贈または購入により随時行っており、収集の目標は達成できた。
- 展示・収蔵ゾーンの整理と清掃を毎月1回実施し、展示・収蔵空間の温湿度管理と有害生物防除に努めた。
- 収蔵資料台帳の整備とデジタル公開については、本館・分館の収蔵資料の全てを整備するまで事業を継続する必要がある。
- フィルムを適切に保管するための空気環境調査を実施し、保存のための環境整備に努めた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

舞阪郷土資料館に保管されている民俗・歴史資料の台帳整備を進めたことで、旧舞阪町所蔵資料のデジタル化を図り、資料の詳細な情報を把握することができた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

本館と分館の収蔵資料を確実に後世に伝えるとともに、有効に活用するため、収蔵庫の確保、資料の分類・収納とデータベース化を進めていく。収蔵資料のデータベース化とデジタル公開及び、質の高い画像及び歴史的価値付けの充実を図っていく。また、文化財IPMの知識・技能の普及に努め、展示・収蔵環境の保全に取り組んでいく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- 資料の調査収集事業
 - 考古、歴史、民俗、文献等、価値ある歴史文化資料を調査、購入、寄贈等により受け入れ、整理し保管する。
 - 新たな資料の情報に対応し、調査とデータ収集を行う。
 - 収蔵資料と保管施設は、日常的に防虫防カビ、温湿度管理を行い、また定期的に燻蒸処理をして適切な保存環境を維持する。また傷んだ資料は補修をし、特に貴重な資料はレプリカを制作するなどして、展示活用を図る。
 - 伊場遺跡出土品の重要文化財指定に向けて、資料の選定・整理を行い、指定のための条件を整える。
- 電子データ作成公開事業
 - 18万点に及ぶ博物館収蔵資料を、将来にわたって保存するとともに有効に活用し、市民の財産として広く公開する。
 - 収蔵資料台帳を整備し、デジタル化を図り、画像データとともに博物館ホームページで公開する。